

# 第54期決算期(連結)

(平成21年10月1日～平成22年9月30日)



日本フォームサービス株式会社

代表取締役社長 山下 岳英

証券コード:7869

## 注意事項

この資料には、日本フォームサービス株式会社及び連結子会社の計画や戦略及び業績に関する予想及び見通しに関する記述が含まれております。

これらの記述は過去又は現在の事実ではなく、現時点で把握可能な情報からの判断に基づく見込みです。

従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知置き下さい。

## ポイント

売上高及び利益とも前年同期比を上回る  
“増収 増益” を実現

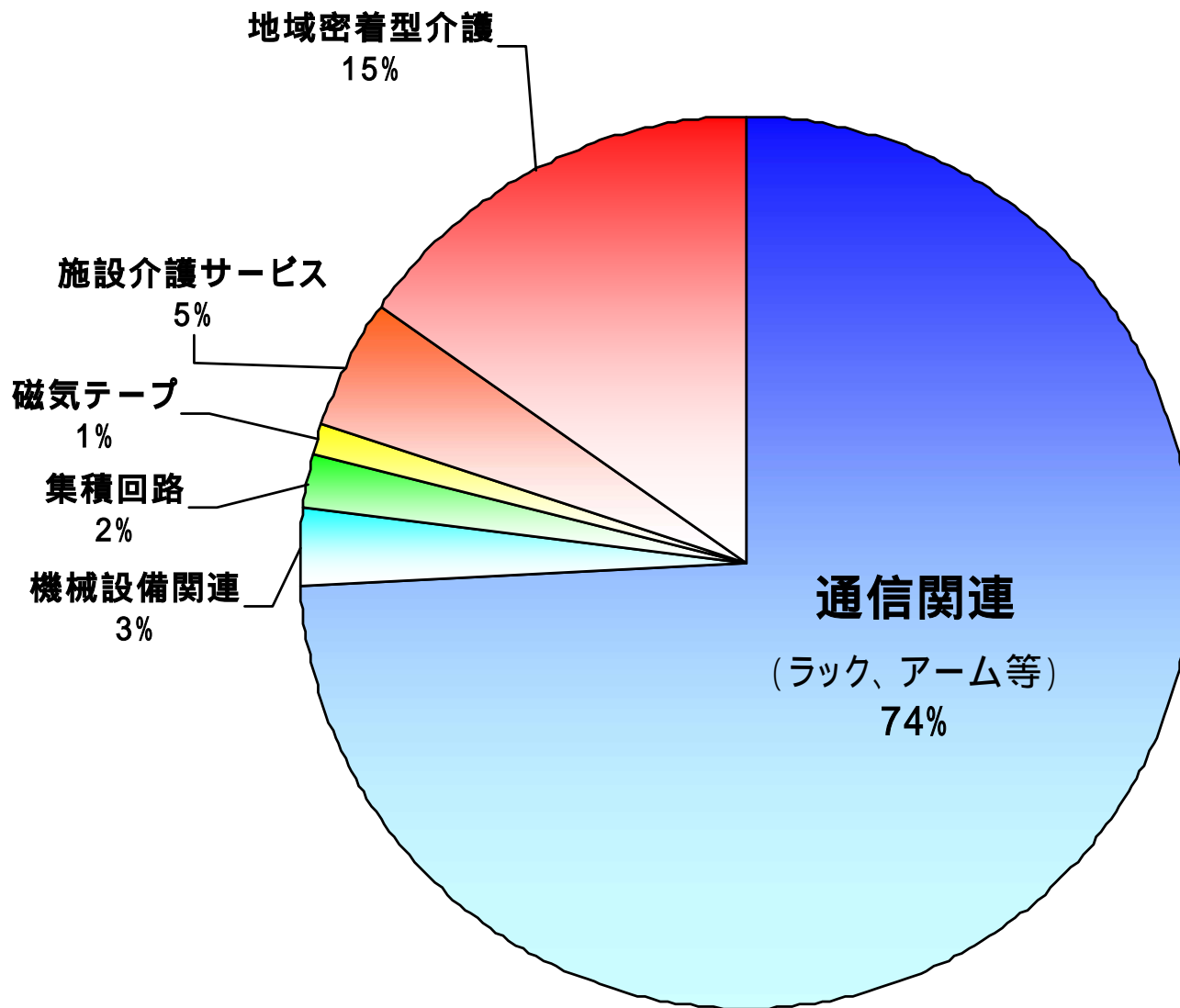
# 第54期 連結決算サマリー



前年同期を上回る“増収 増益”を確保

	第54期 累計	第53期 累計	対前年 増減率
売上高	3,087百万円	2,223百万円	38.9%
営業利益	94百万円	28百万円	235.4%
経常利益	132百万円	44百万円	199.0%
当期純利益	68百万円	19百万円	250.8%

# 第54期決算期 販売実績



第54期決算期  
売上高3,087 百万円

## 売上増加要因

- ◆ 官公庁向け19インチラックの供給
- ◆ 学校教育向けLCDスタンドの市場供給
- ◆ ディスプレイ対応製品である壁掛け・天吊り金具及びデジタルサイネージ用筐体の販売拡充

## 利益増加要因

- ◆ 大口案件に対するまとまった材料発注によるコストダウン
- ◆ 生産体制の見直しや設備の有効活用による無駄なコストの抑制

## 居宅介護

- ◆ 予防介護運動を取り入れた通所介護が堅調に推移
- ◆ 昨年新規にサービスを開始した「お元気クラブふかがわ(通所介護)」  
「訪問看護ステーション」が順調に新規顧客を確保

## 施設介護

- ◆ 地域密着型介護サービスにおける認知症対応型共同生活介護については居室稼働率が上昇し常時満床状態
- ◆ 小規模多機能型居宅介護にて新規顧客が増加

## ■ ビジネス基盤の拡大

既存顧客の囲い込み 新規顧客開拓

## ■ 成長市場をとらえる

太陽光関連ビジネス等

## ■ 製品開発力強化 と 開発スピード向上

## ■ 人材力の強化

次世代のコア人材育成

## ■ 環境関連製品を成長事業へ

太陽光関連製品の市場投入  
エコ関連製品の拡販

## ■ ソリューション販売の強化

○オーダーメイド型製品及びサービスの強化

## ■ 既存ビジネスのバリューアップ

○製品力・技術力及び開発力の更なる向上

## ■ 営業活動の強化

新規顧客の確保

- ・地域密着型介護サービスの営業活動強化

## ■ 人材戦略

人材の確保

- ・業界未経験者の積極採用
- ・研修機会の充実 = 社員のスキルアップ

## ■ 選択と集中

○既存サービスの分析と検証

成長期待が大きいサービスへの経営資源投下

# 第55期 通期連結決算予想



	第55期予想	第54期実績	前年 同期比
売上高	3,173百万円	3,087百万円	102.8%
営業利益	110百万円	94百万円	116.4%
経常利益	150百万円	132百万円	113.6%
当期純利益	80百万円	68百万円	116.2%

上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであります。  
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値が異なる場合があります。

～ IRに関するお問合せ先～

日本フォームサービス株式会社  
経営企画室

TEL: 03-3636-0011 / FAX: 03-3636-0089

<http://www.forvice.co.jp>



<http://www.forvice.co.jp>